

2020 年度科目等履修生・聴講生へ提供する文学部科目（専門教育科目）に関する申し合わせ

文学部・専門教育科目については、下記科目を除き、全ての科目を科目等履修生・聴講生へ提供することとしたい。

【履修を許可しない科目】

○ 演習科目〔知へのパスポート、知のナビゲーター、専修ゼミ、卒業演習 等〕

○ 実習科目〔ICT ベーシックス（旧カリ：情報処理入門）、情報処理(各テーマ)、プログラミング、地理学・地域環境学実習 等〕

○ 必修科目〔専修研究〕

※ 外国人研究生の受講科目の取り扱いについては、科目等履修生・聴講生の受講科目の取り扱いに準ずることとなっているが、専修研究については、指導教員の許可を得たうえで、外国人研究生に対しては提供する。

○ 初等教育学専修が開設する科目

※ ただし、初等教育学専修が開設する科目は、初等教育学専修卒業者に対しては提供する。

○ 総合人文学科目〔総合人文基礎講義（各テーマ）、専修横断講義（各テーマ）、専修横断演習（各テーマ）、情報社会と研究倫理〕

※2020 年度改正カリキュラム

○ 日本語教授法、日本語教育方法論

※ 日本語教師養成講座科目のうち、内容的に演習・実習科目に相当すること、および養成講座のほかの必修科目(言語学研究・国語学概論・日本語教育概論)を履修していることが前提となる科目のため。

ただし、本学文学部に 2013 年度以降に入学し、卒業した者に対しては提供する。

○ 定員制科目〔正規生多数の場合、受入不可になることがある〕

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| ・ 音楽論 a / b | ・ 情報メディアの活用 |
| ・ 地理学・地域環境学調査研究法 a / b | ・ 博物館実習（※土曜クラスのみ受入可） |
| ・ 地理情報システム a / b | ・ 連携講座（伝統芸能 1） |
| ・ 情報探索と情報利用 a / b | ・ 連携講座（伝統芸能 2） |
| ・ デジタルメディア情報処理 | ・ 図書館情報技術論 |
| ・ 電子図書館 | ・ Intensive English Program I |
| ・ 映像メディア制作論 | ・ Intensive English Program II |
| ・ 書道（一） | ・ Intensive English Program III |
| ・ 書道（二） | ・ Intensive English Program IV |

※ 以下の科目は、教員免許取得希望者のみ受入可

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ・ 外国語演習 1a/1b（英語コミュニケーション） | |
| ・ 外国語演習 I/II（ドイツ語） | ・ 外国語演習 I/II（中国語） |

※「博物館実習（土曜クラスのみ受入可）」は、本学卒業者で履修年度に学芸員資格を取得見込みの者に限る。（コースによる出願の際は、本学卒業者に限らない。）

以 上